

# 目次

## [概要](#)

[debounce タイムアウトとは何か。](#)

## [関連情報](#)

# 概要

であるもの debounce タイムアウトがおよび E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA ) の debounce タイムアウトを設定する方法をこの資料に記述されています。

## debounce タイムアウトとは何か。

ESA は電子メールでユーザにあればユーザ 介入を必要とするシステムエラーがある場合アラート通知を送信 します。 エラーが頻繁に発生する場合、アプライアンスは指定の一定時間のための同一のアラートを送り直すことを控えるために設定することができます。 このパラメータは debounce タイムアウトとして知られています。

debounce タイムアウトを増加することはハードウェアコンポーネントが置換の過程においてある間、重複したアラート 通知を最小に することのようなある特定の状況では役立ちます。

AsyncOS が複製するアラートを送信 する前に待つために秒の初期値を規定できます。 0 に設定されるこの値重複アラート概略および代りに送信 されなければ、すべての重複したアラートは遅延なしで発信されます ( これは多量の電子メールに短い時間を導く場合があります )。 重複したアラート ( アラート間隔 ) の送信の間で待つ秒数は各アラートが発信された後高められます。 増加は二度待つ秒数最後の間隔とです。 従って 5 第 2 待機に 5 秒に、15 発信された、アラートが 秒、35 秒、75 秒、155 秒、315 秒、先祖などあります

最終的に、間隔はかなり大きくなる可能性があります。 重複した Alert フィールドを送信 する前に待つために秒の最大数で間隔の間で待つように秒数のキャップを設定できます。 60 秒へのたとえば 5 秒に初期値を設定したら、および最大値、アラートは 5 秒、15 秒、35 秒、60 秒、120 秒、先祖などで発信されます

2 つのリストされていたコンフィギュレーションパラメータの値を変更し、次に変更を保存するために託します発行して下さい。

**ヒント :** ハードウェアコンポーネント解決するか、または置換と完了したら、戻します初期値に debounce タイムアウトの `alertconfig` 設定を覚えていて下さい。

## 関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)